

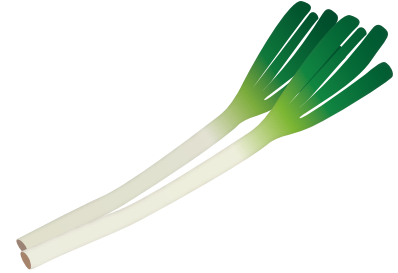


「天高く馬肥ゆる秋」などと言いますが、人間同様、犬にも肥満は大敵！ 肥満は万病のもとです。愛犬の体重管理は飼い主さんの最も重要な責任のひとつ。病気になって苦しむのは愛犬です。食事量に気をつけるとともに、犬が食べると危険な食べ物もありますから、この機会に知っておきましょう。

代表的な、犬に与えると危険な食べ物

*ネギ類

ネギ類に含まれる物質が犬の赤血球を破壊してしまいます。血尿がでたり、貧血になったりします。ネギ類の毒性は加熱しても消えませんが、小型犬は少量でも死に至ることもあり、危険です。



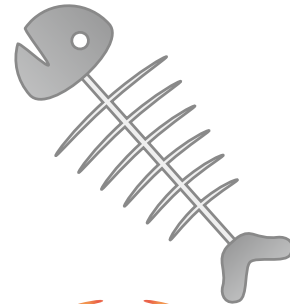
*チョコレート・ココア

チョコレートなどに含まれている苦み成分であるカカオの成分が、心臓や中枢神経を刺激し、嘔吐・下痢・急性心不全などを引き起こし、最悪の場合、死に至ります。



*骨

加熱した鶏の骨や魚の骨は硬いため、細かく砕けずに縦や斜めに裂け、それが消化器に刺さってしまう恐れがあります。



*キシリトール

急激な低血糖状態を引き起こし、嘔吐、ふらつき、けいれん、発作などの様々な中毒症状が現れ、最悪の場合死に至る可能性もある。

*エビ・イカ・タコ・カニ・貝類など

うまく消化出来ず、下痢や嘔吐を起こす。



*香辛料

刺激が強すぎて下痢を起こす。

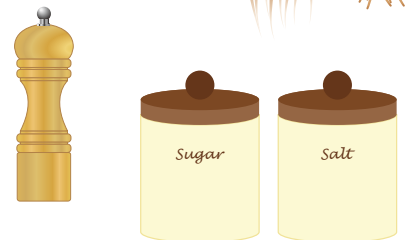
*糖分・塩分を多く含む味の濃いもの

糖分は肥満につながり、塩分は腎臓や心臓に負担がかかる。



* * * * *

「食欲の秋」ではなく、愛犬家としては、快適なこの季節こそ、お散歩をたくさん楽しみましょう。秋はスポーツの季節でもありますからね。



「愛犬家住宅」づくりのご相談先